

三崎公園の主な成り立ち

○ S 31 (1956) : 都市公園法施行

○ S 32 (1957) : 自然公園法施行

三崎地区が磐城海岸県立自然公園に指定

○ S 34 (1959) : 都市計画公園事業の認可

5か年継続事業として公園の整備工事を開始

○ S 36 (1961) : 円型展望台の供用開始

三崎公園の展望台付近（昭和45年10月、いわき市撮影）



○ S 39 (1965) : 事業計画の変更（公園範囲の変更・事業期間の延長等）

※以降、状況を踏まえて事業計画の変更申請・認可を実施

三崎マリーン・ランド構想の公表

○ S 41 (1966) : 14市町村の合併により「いわき市」誕生

三崎トンネル開通。小動物園の供用開始

○ S 42 (1967) : 湯本温泉郷・いわき海岸（延43.6km）が全国周遊コースに指定

○ S 46～47 (1971～1972) : 公園区域内民有地の取得

三崎公園の将来図（昭和58年7月、いわき市撮影）



○ S 49 (1974) : 芝生広場の供用開始

○ S 53 (1978) : 三崎潮見台の供用開始

○ S 54 (1979) : いわき市観光開発整備計画基本計画を策定

三崎公園に県立海洋博物館を中心とする海洋科学センター等の建設構想を提案

○ S 60 (1985) : いわきマリンタワーを仮オープン（翌年8月に本供用開始）

マリンタワーの建設に伴い小動物園を閉園

○ S 61 (1986) : 管理棟や人工芝そり場、ソフトボール場、トリムコース、バーベキュー広場等で構成された

いわきサンスポーツランド（勤労者体育施設）がオープン

いわきサンスポーツランド（昭和61年頃、いわき市撮影）

○ S 63 (1988) : 野外音楽堂の供用開始



○ H 8 (1996) : ピクニックガーデン等の供用開始

○ H 9～11 (1997～1999) : 北側幹線園路等を整備

○ H 10 (1998) : 国民年金健康センターいわきがオープン（平成19年に民間移管）

三崎公園付近空撮（平成26年12月、いわき市撮影）

○ H 12～14 (1997～1999) : 南側幹線園路（トンネル含）を拡幅

整備

○ H 17 (2005) : 港が見える丘・海浜樹林ゾーン等の供用開始

